

平成23年8月23日（火） 服務研修を行いました。

○ねらい

不祥事を自分のこととして受け止め、教育に携わる公務員としての自覚を喚起するとともに、規範意識の向上を図る。

○方 法

ロールプレイング（体罰事案）

○資 料

教職員による不祥事の根絶—信頼され続ける教職員であるために—（改訂版）

（平成22年12月広島県教育委員会）

○研修の様子



※吹き出しの言葉は、研修後の教職員の感想です。

いろいろな個性、特性を持った子がいるので、よりきめ細やかに見ていく。

体罰は絶対に許されないと再認識した。すべて言い訳になり、後悔ばかりである。

保護者の立場では、体罰を受けたことに対してはどんなことを言われても納得できないことが分かった。

日常の指導に子どもをどう育てたいか明確な方針を自分が持ち、事実をもとに話せるようにしておかなくてはならない。



- 
- 
- 
-